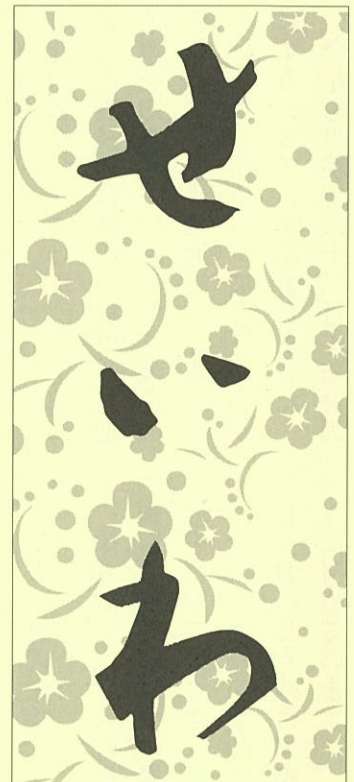


地元の二宮神社のお祭り、御神輿がやってきました。院内にも繰り込んでくれ、「わっしょいわっしょい！」と子供たちの掛け声が元気よく響き、それまでの病院の雰囲気が一気に活気付きました。患者様のお顔もニコニコ。季節を肌で感じたひと時でした。



藤枝市中ノ合 26-1  
医療法人社団 やしまかい 八洲会  
誠和藤枝病院  
〈054〉638-3111(代)

診療時間  
月～金  
午前 9:00～午後 5:00  
土曜日  
午前 9:00～正午 12:00

### ひとりごと

医師 加藤 健次



「水と安全はただ」というのが日本の特徴と言われたが、近年、これも変わって、水も売られ、親が子を殺し、子供が親の首をまさかりで叩き切る変化には啞然とさせられる。

動物園などで餌を与えられ、ゲージに隔納されてる哺乳類は、時に子育てをしない等本能が退化するそうだ。人間も本能が退化してしまつたのかな？言葉を使って意思伝達が可能になり、五感・六感機能が劣化し、その証拠なのか、スマトラ沖地震で多数の死者が出たのに動物の死体はあまり見つからなかったそう。

戦前、野戦の絵本を見たとき「こんなことが日本で起こったらたまらない」と思ったが、やがて日本にもB29の空襲という形でやって

きた。竹槍の配給で、近所のおばちゃん達が話していた。「B29とどうやって竹槍で戦うのだヨ！」おばちゃんの方が正しかった。B29が落ちて乗っていたアメリカ兵が群衆に虐待を受け、血と泥にまみれて引きずられてくるのを見た。その夜、夢を見た。犬だ、でも人間のようだ。防空壕の奥に隠し、かくまおうとした。敗戦の日、日頃『一億玉碎』を唱えて我々生徒の頭をポカポカ叩いていた先生が、戦後、しゃあしゃあと生きていた。

戦前精神主義を唱えていて、負けた日本は物資主義に一転した。朝鮮戦争、ベトナム戦争が起こり、隣の不幸が『漁夫の利』となりバブルの時代となった。ここで危惧するのは、日本社会は単一の概念に向かって猪突猛進し、やがて崖からぶち落ちるのではないかと思う。聞く耳持たない風潮がおそろしい。反論は必ずある。反論に耳を傾けることは一つの能力である。この能力を失った集団に未来はない。力のマネージメントの下では、良識あるものは口を閉ざしてしまう。政権も三百年以上続かないのは、良識が口を閉ざす結果なのかもしれない。

『人生の喜』とは、自由に談笑し、人々が自由に喜び、悲しみを分かち合えること、ある程度腹を減らしておいて美味しいものを食べることぐらいかもしれない。



# 地震・雷・火事・親父

防火・防災委員会

杉本 正善

古いコピーですが、昔から天災の強い順に地震、雷、火事、親父（最近の親父は優しくして、もう外してもよいでしょうか？）と、言われているように天災の中でも地震は多くの災害を起こします。最近では新潟でまた大きな地震が発生しました。まだ三年も経たないうちに、やっと仮設住宅から自宅に戻れる見通しがつこうとした矢先の事でした。私もちょうど、この地震が発生したとき、子供のバレーボールの大会で出かけて、隣りの富山県にいましたので、かなり揺れたのを覚えていますが。揺れがおさまっても、再び大きな地震が襲ってくるのではないかと不安で、気分が悪くなりました。体育館に響く地震情報は被害の程度や交通情報を知らせていました。最近ではテレビやラジオで地震がくることをいち早く報道し、被害を最小限にするシステムが始まりました。今年も当院では十二月に防災訓



敬老会にて院長スピーチ

練を予定しております。患者様やご家族の方々に安心していただけるよう防災対策に努めて行きたいと思っております。

## 栄養課の仕事について

管理栄養士 藤平 美穂

栄養課では、入院患者様、通所利用者様への食事の提供と栄養管理を行っています。

食事が治療の手助けとなり、楽しくおいしく残さず喫食できるように努めています。



いも掘りの風景

献立には、セレクトメニュー・行事食・おやつバイキングなどを取り入れ、毎食ごとに医師・栄養士が、通所リハビリは事務職全員で検食を行い、残食量や残食の多い品目を調査する一方で、入院患者様に嗜好調査を実施し、出来るだけ多くの声を聞くようにしています。

衛生面では、食中毒が起らないように、作業毎に手洗いの徹底・食品や器具の区分・調理時の中心温度の確認などを行っています。これからも、栄養面だけの食事だけではなく、食べることの楽し

みを味わってもらえるような食事を提供できるよう、努めて行きたいと思っています。



## 通所のある一日

通所リハビリテーション

看護師 北原恵子

十月の初め、少し秋風が吹いて気持ちの良い午後。一刻、私たちは院内の畑の『さつま芋掘り』をしました。「昔とった杵柄」とみなさん生き活きとして、鍬を使ったり、畑の縁に座り込んで、土の中からいいねいにお芋をさがし出したり…。そのお顔は満面の笑み、瞳はキラキラと輝き、とても楽しそうでした。

作業に参加できない方達も、掘





運動会『玉入れ』

り出したお芋を手を取って、その大きさにビックリしたり…。  
普段、外に出る機会のない、お年寄りにとって、『一緒に作業する・外に出る』ということは、とても良い刺激を受け、心身の活性化につながるよい行事だと思います。

医療制度・介護保険制度の見直しと、老人に風当たりが強く感じる今日この頃ですが、私達は、いろいろと工夫をかさね、ご利用者のみなさんと共に、学び喜びのある一日一日をかさねていきたいと思っています。



### 自己紹介

薬剤師 久保山達哉

十月一日よりお世話になっていきます薬剤師の久保山と申します。

私は焼津市生まれで、現在も焼津市から三十分程かけて通勤しています。家族構成として、妻と一男一女の子供がいる幸せな父親でもあります。家族でドライブや旅行することが好きで、休日にはよく遠出ばかりしていましたが、十歳になる長男が松坂投手（現ボストンレッドソックス）に憧れ、最近少年野球団に入団し、野球を始めた為、専ら家族で野球（草野球にもならない野球）観戦するという休日の過ごし方になってきています。

簡単な自己紹介ではありますが、誠和藤枝病院の職員として皆様と一緒に頑張ろうと思っています『おやし薬剤師』をどうぞ宜しくお願い致します。



バザー『ふれあいマーケット』

### 新しく主任になって

病棟主任看護師

塩原 綾子

主任になってから、十ヶ月が過ぎました。私の所属する2A病棟は、気切十名、経管栄養の患者様は病棟の半分を占め、全面介助の患者様が多くいらっしゃいます。状態も変化しやすく、常に緊張感を持って日々の業務を行っています。そのため、患者様の状態変化



作品づくり

を御家族に伝えることにより、コミュニケーションを密にはかることが大切と思っています。  
勤務異動したばかりの頃は、病棟や御家族とも緊張のあまりうまくコミュニケーションをはかることが出来ませんでした。月日がたつにつれて徐々に御家族から声をかけてもらえるようになりました。最近、主治医の先生が新しく見えられ、より主任としての責任を感じながら頑張っています。  
スタッフと力を合わせて、より良い看護、介護ができるよう努力していきたいと思っています。



## 「筋力低下だけが原因ですか？」

最近、『地域リハビリ』と呼ばれるものが各地で実施されており、転倒予防や歩行速度を上げるために筋力強化を中心とした訓練や運動が行なわれています。しかし、原因は本当に筋力低下なのでしょうか。実は『関節機能異常』かもしれません。

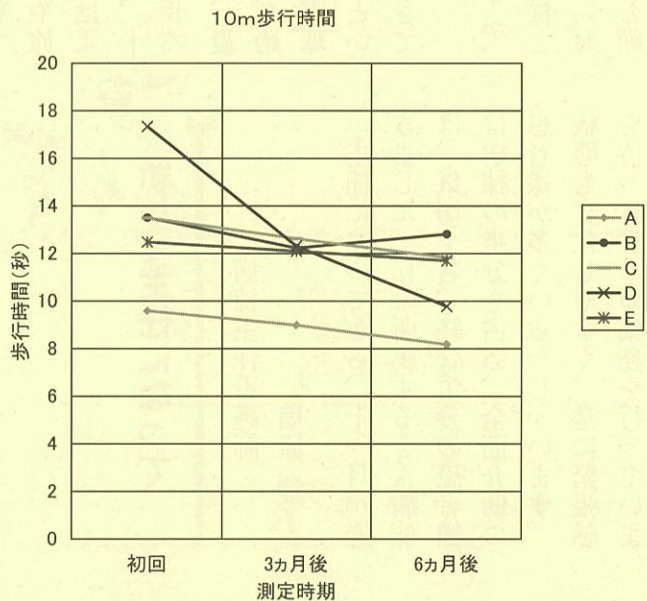
『関節機能異常』とは、関節が正しく動かないことで痛みや腫れ、痺れ、力が出にくい、などの症候が現れるものです。そして、これらの症候は歩行や立ち上がりなどの動作に影響を与えます。

グラフは『関節機能異常』の治療を行なった方々の 10m 歩行時間を 3 ヶ月ごとに測定したものです。歩行時間が短縮されている方が多いことがわかります。特に D さんの速度は大幅に短縮されています。つまり D さんの原因は筋力低下ではなく、『関節機能異常』であったと考えられるのです。

また『関節機能異常』は、治療をせずに症候を残したまま運動などを行なうことで、状態を悪化させてしまうこともあります。まず治療を行ない、関節の動きを正常に戻した上で運動などを行なう必要があるのです。

痛みはないですか？腫れはありませんか？  
心当たりのある方は、ぜひご相談下さい。

理学療法士 望月 緑



### 職 員 募 集

- ◎正・准看護師
- ◎理学療法士
- ◎作業療法士
- ◎言語聴覚士
- ◎介護支援専門員
- ◎介護職員

詳しいお問い合わせは (054) 638-3111 担当 事務長まで

秋祭りのシーズンが到来。週末になると、花火やお囃子のにぎやかな音が、どこからともなく聞こえてきます。暑かったこの夏の疲れを、秋の味覚でゆっくり癒しながら、ちょっとした一息…。適切なストレッチを心がけていきましょう。



編集後記